MOMOFUKU
ANDO
CENTER
安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター

J.E.E.F
Japan
Environmental
Education
Forum
日本環境教育フォーラム

自然学校指導者養成講座
2014年度 シラバス

主催：安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター
共催：公益社団法人日本環境教育フォーラム

科目	体験教育論		
講師	西田　真哉　（にしだ　しんや）	日程	10月7日（火）10時～17時
主な役職	新生会ＨＡＬＣ自然学校校長　他		
テーマ	体験教育論		
概要	環境教育活動、野外教育活動における、参加機会と参加者相互の学習の深まりについて、「受講型（受身型）」、「参加型（体験型）」、「参加者主体型」、「参画型」の区分を、体験的に解説して、活動プログラムに「体験学習法」を導入する効果を体得する。		
事前準備	特になし		
事前課題	ネットで、「体験教育」「体験学習」及び「体験学習法」を検索して、その相異を、調べてください。		
持ち物	鉛筆, 消しゴム		
備考	屋外活動の可能性もあります。		

科目	自然学校原論		
講師	岡島　成行　（おかじま　しげゆき）	日程	10月9日（木）10時～17時
主な役職	学校法人青森山田学園理事長、安藤百福センターセンター長　他		
テーマ	日本型環境教育と自然学校の役割について学ぶ		
概要	・人間と欧米の自然観の違いと、それぞれから学ぶべきこと ・日本固有の文化と環境教育 ・日本型環境教育とは ・21世紀における社会と環境問題 ・自然学校とは何か。なぜ自然学校なのか。 ・日本の自然学校の今後の展開		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	特になし		

科目	環境思想・環境倫理（AM）		
講師	加藤　尚武　（かとう　ひさたけ）	日程	10月10日（金）10時～12時
主な役職	京都大学名誉教授、東京大学特任教授、鳥取環境大学名誉学長　他		
テーマ	「自然とは何か――東西の思想をたずねて」		
概要	１．「自然」という言葉　２．自然物には運動・停止の原則 ３．自然（ツーラン）　４．自然（じねん）法爾（ほうに） ５．アリストテレスの自然史　６．神と自然 ７．イスラムの古典文化　８．十二世紀ルネサンスの本質 ９．望遠鏡（ガリレオ）　１０．蜜蝋のたとえ（デカルト） １１．アリストテレスの自然学の否定　１２．文化と自然 １３．神の自然を感じ取る　１４．進化論と自然保護		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考			

科目	環境思想・環境倫理（PM）		
講師	関　智子（せき　ともこ）	日程	10月10日（金）13時～17時
主な役職	国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター　主任研究員		
テーマ	環境思想のルーツに触れる ――江戸期思想家はどのように自然と向き合ったのか		
概要	本講座では、環境思想とはどのようなものか、また自然体験活動と環境思想にはどのような関係があるのかについて学習する。さらに環境思想がこれまでに社会に及ぼした影響について、事例を通して考察する。 なお、授業の構成は次の通り。 1)講座参加者が自らの自然体験を振り返り、自然と人間の関係についての考えやイメージを語り合うグループディスカッションを行う。 2)江戸期思想家の生き方と考え方を事例とした日本型環境思想のルーツを紹介する。 3)日本の特徴をさらに明確に把握するために、アメリカにおける環境思想の発展経緯を紹介し、わが国と比較する。		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	文献等については、講座内で適宜紹介する。		

科目	環境教育論		
講師	阿部　治　（あべ　おさむ）	日程	10月15日（水）10時～17時
主な役職	立教大学社会学部教授、日本環境教育学会会長　他		
テーマ	持続可能な社会をめざした環境教育/ESDの現状を知り、今後の課題について考える		
概要	1．環境問題の歴史と環境教育の登場 2．世界と日本の環境教育の歩み 3．持続可能な開発（SD)と持続可能な開発のための教育（ESD)の登場 4．多様なステークホルダーによる環境教育/ESDの取り組み 5．自然学校によける環境教育/ESDの取り組み 6．地域づくりとしての環境教育/ESD 7．これからの環境教育/ESDの視点		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	特になし		

科目	日本の火山概論		
講師	荒牧　重雄　（あらまき　しげお）	日程	10月16日（木）10時～17時
主な役職	東京大学名誉教授、火山学者　他		
テーマ	日本の火山活動について学ぶ		
概要	１）浅間山関連の噴出物，地層,構造などを野外で観察.討論. ２）火山現象一般の議論. ３）噴火作用の各論. ４）噴出物,火山体などの各論. ５）火山災害の種類と防災・減災の手段 ６）火山の恩恵，社会への影響など		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	野外研修の際は汚れてよい衣服，野外用の靴など		
備考	特になし		

科目	日本山岳風景論（日本の山はなぜ美しいか）		
講師	小泉　武栄　（こいずみ　たけえい）	日程	10月17日（金）10時～17時
主な役職	東京学芸大学特任教授　他		
テーマ	日本の山はなぜ美しい		
概要	日本の山は世界的にも例がないほど美しいが、その背景には日本の山の自然がきわめて多彩で繊細であるということがあげられる。このことを説明するために、以下のような視点から、山の自然をみていくことにしたい。 １．世界的な視野からみた日本の高山　２．植生の多様性を支える基盤地質と地形 ３．地生態学の考えかた　４．火山植生と火山の噴火史 ５．各地の事例の紹介　６．ジオパークと世界遺産		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	特になし		

科目	森林セラピー体験		
講師	佐久市森林セラピー推進協議会森林ガイド	日程	10月20日（月）9～15時
主な役職	ー		
テーマ	森林セラピー体験		
概要	信州の山里を体験する森林セラピー基地「春日の森」ツアー １．森の案内人（ガイド）付き森林セラピー ２．血圧測定、ストレス度測定（森林セラピー前後各1回）		
事前準備	森林内で気楽に動ける服装（Tシャツ、厚手の長袖シャツ、長ズボン、タイツ、毛の靴下等）と、トレッキングシューズ		
事前課題	特になし		
持ち物	10～20ℓ程度のザック、雨具(上下セパレートがお勧め)、防寒具(耳の隠れる帽子、手袋も)、タオル、水筒又はテルモス、又はペットボトル(湯又は水)、メモ帳、その他必要と思う物（カメラ等）		
備考	※佐久市春日の森の標高は850～900mとなります。 朝の冷え込み対策を各自でお願いします。		

科目	登山技術		
講師	畠山　浩一（はたけやま　こういち）	日程	10月21日（火）～23日（木）
主な役職	公益社団法人日本山岳ガイド協会　試験・研修委員会委員長		
テーマ	登山技術基礎		
概要	21日　机上　登山技術　①山歩きについて　②計画と準備　③天気と山のリスク　④安全管理技術 22日　実習　黒斑山登山　下山後野外泊実習 23日　実習　高峰高原周辺の登山道とビジターセンターを利用して、登山と自然観察、エコツアーの実践		
事前準備	二日間の登山が出来る装備と、体調管理　野外泊が出来る装備と準備		
事前課題	これまで自身の野外体験の中で、山岳エリアでの体験を振り返ってみる。その中で①感動したことや楽しかったこと②つらかったこと、危なかったことなどをまとめておく。実習の際に、自身が指導者となった場合、それらの課題をどう反映させるかを考え、実践してみる。		
持ち物	晩秋の2,000メートル超えの登山に耐えられる装備一式。同様に野外泊が出来る装備一式。机上講習でも使用するので、25,000分の1地形図「浅間山」エリアとコンパス		
備考	一泊二日のテント泊山行を自身の力で遂行できる最低限の装備と準備をしておいてください。		

科目	人と動物の関係論		
講師	松澤　淑美　（まつざわ　よしみ）	日程	10月26日（日）10時00分～11時30分
主な役職	長野県動物愛護センターふれあい課		
テーマ	望ましい人と動物の関係について学ぶ		
概要	【スケジュール】 10時から11時　アニマルセラピーについてのレクチャー 11時から11時30分　施設内見学 11時30分　終了		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	小諸市にある動物愛護センター「ハローアニマル」で実施します。		

科目	生態学概論		
講師	北野　日出男　（きたの　ひでお）	日程	10月27日（月）10時～17時
主な役職	東京学芸大学名誉教授　他		
テーマ	生態学という学問内容の理解		
概要	１．私の研究の紹介（ヤドリバチの生物学）、２．生態学とはどのような学問か、 ３．生態学的環境観（「環境」概念の考察）、４．生態学の研究分野の概説、 ５．野外観察実習　など		
事前準備	高等学校(生物１および２）程度の生態に関する内容を理解しておくこと。参考書： 日本生態学会編（２００４）「生態学入門」東京化学同人、￥２，８００．－		
事前課題	自然学校指導者として、身につけておくべき「生態学的リテラシー」とは何か、を 考えておくこと。		
持ち物	フィールドノート、ルーペ（貸し出しあり）		
備考	昆虫・植物図鑑、関連する参考書などは講師が持参します。		

科目	アウトドアフードコーディネート論		
講師	蓮池　陽子　（はすいけ　ようこ）	日程	10月28日（火）10時～17時
主な役職	フードディレクター（コーディネーター）、料理家		
テーマ	アウトドアフードクリエイターになる！		
概要	アウトドアにおける食（料理の意味） 基本的な料理技術、アウトドアでの料理技術 美味しさの定義を考える。 アウトドアフードをクリエイトする。（実際に料理をつくる） ※参加者の状況にあわせ、上記の内容を織り交ぜて進行。 ※当日の天候などにあわせ室内、屋外実習を予定		
事前準備	特になし。		
事前課題	自分のソウルフードは何か？なぜその食べものがソウルフードか？を考えてくる。 可能であれば絵や画像データを持参		
持ち物	持ち物：軍手（皮手）、必要に応じてエプロン、タオル 格好：焚き火用の綿の服、防寒着（帽子、マフラー等を含む）		
備考			

科目	野外教育論		
講師	星野　敏男　（ほしの　としお）	日程	10月29日（水）10時～17時
主な役職	明治大学教授、日本野外教育学会理事長　他		
テーマ	野外教育論		
概要	全体の講義を４回に分け、討議を交え、話し合いながらすすめる予定です。 第１講：青少年と自然体験活動について（野外教育の意義、現状と課題など） 第２講：自然体験活動をめぐるさまざまな用語について（野外教育の歴史と背景） 第３講：自然体験の効果　指導者の役割について（野外教育とその指導） 第４項：野外教育指導者としてのアウトドア・リスクマネジメントについて		
事前準備	特になし		
事前課題	わたしたちがさまざまな自然体験を「教育」や「学び」として提供する場合、このような教育（野外教育や体験学習）にはどのような特質があるでしょうか？普段の学校教育との違いや教育としての体験活動の意義などについてあなたの考えを2000字～3000字程度にまとめて下さい。		
持ち物	筆記具以外、特にありません。		
備考	特になし		

科目	環境政策論		
講師	中尾　文子　（なかお　ふみこ）	日程	10月30日（木）10時～17時
主な役職	環境省自然ふれあい推進室長		
テーマ	地球環境の現状と持続可能な社会の構築に向けて		
概要	日本の環境政策の概要をお話しした上で、特に自然環境保全に関する法制度・各種施策について、下記の分野ごとに説明します。 ・生物多様性の保全 ・野生生物保護（外来生物対策含む） ・自然公園の保護と利用 ・自然とのふれあい ・自然再生		
事前準備	環境（問題）について、「気づき」や「行動」を促す、おすすめの本（子ども向けが望ましい）を探してきてください。		
事前課題	特になし		
持ち物	環境（問題）について、「気づき」や「行動」を促す、おすすめの本（子ども向けが望ましい）。		
備考	特になし		

科目	社会構造論		
講師	萩原　なつ子	日程	10月31日（金）10時～17時
主な役職	立教大学社会学部教授、日本ＮＰＯセンター専務理事　他		
テーマ	人権、環境に配慮した社会の構築に向けて、市民がどのような関わりを持つのかについて理解する		
概要	1．被差別者の生活と環境 2．環境に配慮した経済システム 3．環境問題と経済、政策との関わりについて 4．基本的人権としての環境権の保護の理念 5．環境破壊がどのように社会的問題と関わっているか 6．環境問題をフェミニズム/ジェンダーの視点で分析 7．第三世界と第一世界との関係		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	特になし		

科目	ＮＰＯ/ＮＧＯ論		
講師	新田　英理子　（にった　えりこ）	日程	11月2日（日）10時～17時
主な役職	日本ＮＰＯセンター統括部門長　他		
テーマ	継続的に自立的に活動を推進するための、ＮＰＯ/ＮＧＯのマネジメントと法制度について学ぶ		
概要	NPO/NGOと一言でいっても、目的や活動内容の違いによって大きく運営方法も違います。ここでは、ＮＰＯ/NGOのマネジメントやガバナンスのエッセンスを学んでいただき、皆さんの自然体験活動にどう生かされるのか、議論したいと思います。 NPO/NGOを取り巻く日本の法制度や税制も大きく変化していますので、制度をしっかりと押さえた上で、参加される皆様からの事前リクエストにお応えして進めます。		
事前準備	特になし		
事前課題	NPO/NGOに関する特に学びたい項目があれば、10月中旬までに事務局にお知らせください。それを反映した内容にしたいと思います。		
持ち物	筆記用具とメモ帳		
備考	別途テキスト代500円がかかります。		

科目	地域学概論		
講師	吉兼　秀夫　（よしかね　ひでお）	日程	11月3日（月）10時～17時
主な役職	阪南大学国際観光学部国際観光学科教授　他		
テーマ	地域観光の考え方とエコミュージアムの内容を知る		
概要	近年の観光動向を「観光における「図と地」論」として理解し、「地」の振興（快適で楽しい地域環境づくり）のための手法の一つとしてエコミュージアムを事例をもとに解説します.		
事前準備	出身地や愛着のある地域の宝を再認識しておく		
事前課題	地域の宝を掘り起こして地域づくりをしようという活動が増えています。地域の宝とは一体何でしょう。あなたの出身地または居住地から、地域の宝を5つ以上発見して、それら一つ一つについて地域住民と共有しながら、地域活性化につなげていく方法を考えてください。負の宝でも結構です。A４版にて1600字以内にまとめてください。		
持ち物	特になし		
備考	特になし		

科目	自然学校の可能性		
講師	辻　英之（つじ　ひでゆき）	日程	11月5日（水）～6日（木）
会場	ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター代表理事　他		
テーマ	人口1800人のへき地山村における自然学校の事例に学ぶ		
概要	人口1,800人の限界自治体ともいうべき小さなへき地山村、長野県やすおか村。その村に、へき地山村に根ざした山村留学や自然体験教育キャンプ等を進めることを通して、「何もない村」における「教育」を産業化させることに成功したNPOがある。 本講義では、27年にわたって展開される教育NPOの事例をもとに、自然学校の本質的な役割と可能性について、さらには社会変革に必要な小さくとも強い意志について議論を深める。		
事前準備	「奇跡のむらの物語　1000人の子どもが限界集落を救う！」（農文協、辻英之編著、1785円）を読んでおくことが望ましい。		
事前課題	特になし		
持ち物	できれば上記「奇跡のむらの物語」		
備考	楽しくディスカッションしましょう		

科目	生き方暮らし方		
講師	ホールアース自然学校職員	日程	11月11日（火）～14日（金）
会場	ホールアース自然学校		
テーマ	社会の中での自然学校の可能性を探り、自らの進路について考える		
概要	1．オリエンテーション 2．ホールアースの原点「施設整備」と「命をいただく」 3．里山里地の自然学校「ホールアース農場」と「里山論」 4．エコツアー「洞窟樹海体験」 5．「ホールアース自然学校論」 6．「生き方暮らし方」を考える		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	レインウェア（上下セパレート）、水筒、筆記用具、保険証、デイパック、暖かい服装、その他3泊4日に必要なもの。		
備考	3泊4日の実地研修。		

科目	自然学校運営の基礎		
講師	佐藤繁一、山口芳一（予定）	日程	11月18日（火）～21日（金）
会場	国際自然大学校日野春研修所		
テーマ	自然学校のプロ指導者として組織運営の基礎を学ぶ		
概要	自然学校を取り巻く状況、自然学校の役割、予算管理、リスク管理、報告書作成等の自然学校組織運営に関する基礎を学び、プロ指導者としての自分の方向性、仕事、組織についてのイメージとその実現のための具体的な始動を考える。また、PA（プロジェクトアドベンチャー）を行い、体験学習法に基づく人間関係トレーニングについて理解する。		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	宿泊用品、防寒着、軍手または皮手袋、雨具（上下セパレート）、野外で活動できる服装、電卓、筆記用具、洗面用具、その他各自必要なもの		
備考	3泊4日の実地研修（現地集合、現地解散）。 宿泊費4,200円、PAサイト使用料2,800円。 食費は受講生による自炊のため実費精算。		

科目	メディックファーストエイド（2日間）		
講師	長谷部　雅一　（はせべ　まさかず）	日程	12月1日（月）10時～2日（火）17時
主な役職	Be-Nature School スタッフ、ネイチャーインタープリター　他		
テーマ	小児、乳児、成人のためのCPR（心肺蘇生法）、AED（自動体外式除細動）とその他の応急手当て（ファーストエイド）を体得する		
概要	別紙MFA資料参照		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	筆記用具		
備考	特になし		

科目	インタープリテーション①概論		
講師	鳥屋尾　健　（とやお　たけし）	日程	12月3日（水）10時～17時
主な役職	（公財）キープ協会環境教育事業部課長		
テーマ	・インタープリテーション		
概要	・講義と実習を通して「インタープリテーション」【自然のある場所や史跡等において）単なる情報の提供でなく、直接体験や教材を通して、事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにすることを目的とした教育活動】について学びます。		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	筆記用具、野外で活動できる服装		
備考	特になし		

科目	インタープリテーション②実技		
講師	安西　英明　（あんざい　ひであき）	日程	12月4日（木）10時～17時
主な役職	（公財）日本野鳥の会主席研究員、（公社）日本環境教育フォーラム理事　他		
テーマ	自然を楽しみ方と伝え方、その意義		
概要	哲学と知識の基礎を講義するとともに、野外体験後にインタープリテーションの企画を作成して発表、評価しあう。		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	参加者自身が持っている範囲で、双眼鏡・虫眼鏡などの観察用具、昆虫採集などの道具、自然や生物系の図鑑		
備考	特になし		

科目	プログラムデザイン①講義		
講師	山田　俊行（やまだ　としゆき）	日程	12月5日（金）10時～17時
主な役職	トヨタ白川郷自然学校校長補佐・事務局長、NPO法人白川郷自然共生フォーラム理事　他		
テーマ	プログラムの構造を学ぶ		
概要	1．プログラムとは何か 2．プログラムの構造を考える 3．良いプログラムと悪いプログラムを分けるものは何か 4．教育プログラムとレジャープログラムの違い 5．プログラム実施までのステップ 6．プログラムの評価① 7．プログラムの料金設定		
事前準備	特になし		
事前課題	過去に自分で参加したことのあるプログラムの概要が分かる資料（募集チラシや当日の資料、個人的なメモ）などがある人は持参してください。		
持ち物	特になし		
備考	場合によっては屋外で研修を行います。		

科目	プログラムデザイン②実技		
講師	山田　俊行（やまだ　としゆき）	日程	12月6日（土）10時～17時
主な役職	トヨタ白川郷自然学校校長補佐・事務局長、NPO法人白川郷自然共生フォーラム理事　他		
テーマ	プログラムの作り方を学ぶ		
概要	1．１５分プログラムを作る 2．１５分プログラムの体験とフィードバック 3．プログラムの評価② 4．ネタの探し方 5．小道具について 6．プログラムの質を高めるものは何か 7．まとめ		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	場合によっては屋外で研修を行います		

科目	アウトドアマーケティング論		
講師	中村　達　（なかむら　とおる）	日程	12月10日（水）10時～16時
主な役職	アウトドアジャーナリスト、（株）ネーチャーインテリジェンス代表取締役、安藤百副センター副センター長　他		
テーマ	アウトドアマーケティング論		
概要	アウトドアマーケティング概論 アウトドアライフデザイン論 1　アウトドアズとCSR 2　ロングトレイルと地域観光活性化 アウトドア産業論 アウトドア史 アウトドアマーケットの課題		
事前準備	特になし		
事前課題	特になし		
持ち物	特になし		
備考	特になし		

科目	修了講習		
講師	山田　俊行（やまだ　としゆき）	日程	12月20日（土）10時～17時
主な役職	トヨタ白川郷自然学校校長補佐・事務局長、NPO法人白川郷自然共生フォーラム理事　他		
テーマ	プロ養成講座全体のまとめとふりかえり、今後の進路についての考察を深める		
概要	ＯＪＴ（半年）、座学（39日）での体験と学習について、テキストやノートをもとにふりかえり、自らが何を学び、体得したのかを洗い出す。今後、プロ指導者になるために、必要な課題やスキルについて、考察する。今後のアクションプランを作成する。		
事前準備	ＯＪＴでのフィードバック、座学中に使用したテキスト、ノート		
事前課題	特になし		
持ち物	筆記具、ＯＪＴでのフィードバック、座学中に使用したテキスト、ノート		
備考	特になし		